

会 議 録

平成22年12月17日調製

審議会等名	平成22年度 第2回 三条市公民館運営審議会		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	平成22年11月30日(火) 午後2時～4時5分		
開催場所	三条中央公民館 大集会室	傍聴者	なし
		報道機関	なし
出席者氏名	運営審議会委員 小林斉子委員長(議長) 阿部凉子副委員長 (10人) 丸山正夫委員 佐藤和恵委員 五十嵐成子委員 小杉武久委員 近藤喜美子委員 弥田正蔵委員 米山文子委員 野崎輝子委員		
	公民館職員 捧中央公民館長(三条東公民館長兼務) 坂井嵐南公民館長 (16人) 藤崎井栗公民館長 鈴木本成寺公民館長 大坂大崎公民館長 石田大島公民館長 高波栄公民館長 坂井下田公民館長 長橋館長補佐(中央) 小林主査(中央) 坂井館長補佐(栄) 渡辺囑託員(東) 大久保囑託員(井栗) 高橋囑託員(本成寺) 小林囑託員(大崎) 小林囑託員(大島)		
議 題	(1) 報告事項		
	ア 平成22年度各種講座等の実施状況について(4～11月分)		
	イ 平成22年度後期事業計画(案)について		
	(2) その他		
	ア 今後の公民館運営審議会の在り方について		
	イ 業務改善の進捗状況について		
会議内容	別紙のとおり		

<p>捧中央公民館長</p>	<p>本日はお忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。それでは、早速会議に入らせていただきたいと思います。公民館運営審議会の規則に基づき、小林委員長さんから議長となつていただき、会議を進めさせていただきますと思います。よろしくお祈いします。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>それでは、平成22年度第2回公民館運営審議会を開催いたします。始まる前に一言だけ、今日お集まりの皆様10名ということで、定足数を満たしておりますが、残念ながら5名の方が欠席でございます。3分の1欠席という事は、私達、公民館運営審議会の委員という小さくない役を負っているわけですし、1ヶ月位前に皆様にご案内を差し上げたはずでございます。万障差し繰って、自分の役目を果たしていただきたいと思うばかりでございます。今日、お見えになっている方に申し上げるということではないわけですが、これからまだ会議はあるわけでございます。そのことを胸に、皆様には、これからよろしくお祈いしたいと思ひます。それから、10月末から私達のところに文化祭のご案内をいただきました。ちょうど忙しい最中にご祈いまして、私は出席することが出来ませんでした、各委員の皆様は、地区の文化祭等にご出席されて、公民館と地区の皆様の頑張りを目にされたことと思ひます。公民館の皆様ありがとうございます。お疲れさまでございました。一言お礼を申し上げます。</p> <p>それでは、始めさせていただきます。議題に入ります。報告事項、「(1)ア 平成22年度 各種講座等の実施状況について及びイ 平成22年度後期事業計画(案)について」事務局、説明をお願いいたします。</p>
<p>長橋中央公民館館長補佐</p>	<p>はい、説明に入ります前に、資料の確認をお願いいたします。本日の資料につきましては、先般、郵送させていただきましたブルーの表紙のものを皆さんお持ちくださっていると思ひますが、本日、皆様の机の上に資料を追加で配布させていただきました。会議次第を若干修正し、資料No.3、No.4が追加となっております。よろしくお祈いします。</p> <p>—— 総括的に資料内容の掲載方法等について説明 ——</p> <p>(資料No.1 平成22年度 各種講座等の実施状況について 実施済・継続中の事業を掲載。実施済事業で、第1回公民館運営審議会へ開催要項を提出済のものは「〇〇講座実施報告」、提出していないものは「〇〇講座開催要項及び実施報告」と記載。</p> <p>資料No.2 平成22年度事業計画(案)について これから実施する事業で、起案決裁済のものを掲載。 現在継続事業、今後実施する事業については、次回の公民館運営審議会に報告を予定。)</p> <p>全資料は11月10日現在で作成。)</p> <p>これより順次、資料の内容についてご説明させていただきますと思ひますが時間の都合上、各公民館とも実施済の事業やこれからの実施予定事業のうち、</p>

	<p>特色ある事業や新規事業を中心に概要を説明させていただきますので、よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、中央公民館の事業について説明させていただきます。</p> <p>—— 主に次の事業について説明 ——</p> <p>(資料No.1 : ふれあい自然体験、通学合宿事業、みんなで農業体験講座、ITリーダー養成講座)</p> <p>(資料No.2 : ふれあい陶芸教室)</p>
坂井嵐南公民館長	<p>—— 主に次の事業について説明 ——</p> <p>(資料No.1 : 夏休みこども体験学習、ふるさと講座、嵐南地区文化祭)</p> <p>(資料No.2 : 芸能発表会)</p>
渡辺囑託員 (東)	<p>—— 主に次の事業について説明 ——</p> <p>(資料No.1 : 市民総合大学、市民総合大学学園祭、市民総合大学第2弾、竣工式・オープニングイベント、はじける！サマーナイトライブ)</p> <p>(資料No.2 : NEW YEAR ライブ&パフォーマンス、三条東公民館文化祭)</p>
大久保囑託員 (井栗)	<p>—— 主に次の事業について説明 ——</p> <p>(資料No.1 : チビッコ広場、チビッコ季節のお菓子作り教室、からだいきいき講座、親善ゲートボール大会、文集「伊久礼」)</p> <p>(資料No.2 : チビッコ書初め教室、くらしの講座)</p>
高橋囑託員 (本成寺)	<p>—— 主に次の事業について説明 ——</p> <p>(資料No.1 : 美味しんぼクラブ、せいかつ塾、男の料理入門教室、本成寺地区作品展)</p> <p>(資料No.2 : せいかつ塾 (秋・冬編))</p>
小林囑託員 (大崎)	<p>—— 主に次の事業について説明 ——</p> <p>(資料No.1 : 体験教室「ディ・キャンプ」、高齢者教室、成人講座、保内地区文化祭)</p> <p>(資料No.2 : こども料理教室)</p>
小林囑託員 (大島)	<p>—— 主に次の事業について説明 ——</p> <p>(資料No.1 : チャレンジクラブ、わくわく子ども探検隊、生活お役立ち講座、大島地区スポーツカーニバル)</p> <p>(資料No.2 : 生活お役立ち講座)</p>
坂井館長補佐 (栄)	<p>—— 主に次の事業について説明 ——</p> <p>(資料No.1 : 栄地区ジュニアリーダー研修、ふるさと歴史探訪、2010栄公民館展)</p> <p>(資料No.2 : 子ども料理教室)</p>
坂井館長 (下田)	<p>—— 主に次の事業について説明 ——</p> <p>(資料No.1 : こども体験教室、生活講座、下田文化祭、下田地区クリーン運動)</p> <p>(資料No.2 : こども料理教室、外国語〔中国語〕講座)</p>

小林委員長	<p>説明ご苦労様でございました。全ての公民館の説明が終わりましたので、ご意見・ご質問がありましたらお伺いいたします。</p>
丸山委員	<p>資料1-1のふれあい自然体験ですが、資料を見た時、確かに参加者が少ないと思いましたが、例年の8月上旬から下旬に変更したので、出席が少なかったという説明がありました。1-4の通学合宿事業、これも参加者が少ないと感じました。4年目ということですが、例年どれ位の人数が参加されていたのか。また、低い原因として、学校へのPR不足という説明がございましたが、果たしてそれだけなのか。今まで4年やってきて、同じPR方法でやってきたと思うのですが、何故ここで参加者が少ないのか。時期的にどうなのかとか、もう少し分析してみた方がよろしいのではないかと思います。これは大切な青少年教育ですので、その点についてお伺いしたい。</p>
捧中央公民館長	<p>1点目のふれあい自然体験の方は、栄公民館から説明があったとおり、今回から栄のジュニアリーダー研修を移行ということで、今年度から吸収したような形で8月末に120人規模で行う予定でしたが、その移行がなかなかスムーズにゆかず、急きょ、後半のものを80人で実施した経緯があります。時期が下旬では学校が始まったところもあり、上旬にやってくれればという希望がいっぱいありました。また、日曜日が入っていると、家族サービスとかで子ども達が出てしまうので、平日にやってほしいという意見もありました。来年はそのことをふまえて8月の前半、平日という中でやらせていただくかと考えております。</p> <p>通学合宿については、今回校長会への説明の伺いを立てましたが、議案が多かったため、お話ししていただくことができませんでした。</p> <p>個々の学校にお訪ねして説明すべきところ、PRが足りなかったと感じております。4日間子どもさんをお預かりすることになります。塾とかスポーツ少年団に入っているため、通しで行かなければならず、出られないという意見が多くありました。そういう方は抜けていただいてもOKですが、その説明とかうまくできていなかったのかなと思っています。参加者の保護者は、いいことなのでもっとPRをして参加者を募ってくださいとか、ご支援をいただいた団体からもすごくいいことなので、自分達も頑張るから続けて頑張ってくださいという激励もいただいています。ご指摘のとおり、もう少しPRとリクルートに力を入れて、来年はまた頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
丸山委員	<p>昨年度の場合や、今年4年目ということですが、参加人数は多かったのですか。</p>
捧中央公民館長	<p>昨年度より人数は少ないです。昨年も途中でインフルエンザがありまして、中止になりましたけれど、今年も申込みの人数は若干減っております。40人</p>

	<p>の定員でやっておりますが、定員に達したことはほとんどありません。これは、下田地区の中山間地で、学校から帰ったら子ども達が集まるところがないということで、平成11年か12年、学校が週休2日制になる頃、文部科学省の補助事業で始めたものです。下田から始まって、三条でもやってみようということで全市に拡げたのですが、私共のプログラムや周知の関係もあって、人数的には充足率100%は、なかなか難しい状態となっています。</p>
丸山委員	<p>栄のジュニアリーダー研修は、非常に出席率も良い。4泊5日というのはどうなのか。ちらりと、長いと言われましたが、その辺も含めまして次年度にお願いしたいと思います。</p>
野崎委員	<p>関連ですが、10月は文化祭とかありますので、学校行事を調べて計画を立てていただきたいと思います。とてもいいことだと思っております。</p>
捧中央公民館長	<p>学校の方へは、市内24ヶ校との調整を事前にやった中で、ぶつからないというのはないものですから、一番空いているところを選びました。去年は11月にやりましたが、寒いという意見があり、10月にやらざるを得ないということでした。9月ですと学校行事も始まったばかりで、なお忙しいと思います。10月の暖いうちにということでやりましたが、期間の件も含め、手法については検討させていただきたいと思います。</p>
阿部副委員長	<p>私もこの通学合宿は良い事業だと思いますので、どんどんやっていくうちに知れ渡って参加率も良くなるのだろうと期待しております。土曜は通学しないので、この日は入れないほうが良かったのではいかと思います。もうひとつ、私は、公民館事業にせよ社会教育にせよ、親子の触れ合いが大事な時期にきていますので、学校の先生だけでなくPTAにも働きかけをしたらよいと思っております。下田、栄に比べて一緒にした場合、参加率が悪くなるということは、公民館とは地域に密着した地域事業をやっていくのが本来なのに、合併の関係もあり、平等に教育は受けなければならないと思っはいますが、はたして、こうやって何でもかんでもひとつにしたのが良いのかどうか。</p> <p>公民館事業の性格から、大島公民館のように全てが定員以上、定員に近いような状態にあるように、地域性を発揮しているところを考えると、栄のジュニアリーダー研修や、下田村のときの若い衆の集まりとか、伝統が息づいていたものが何か取り入れられているのか。この三条の真ん中の考えでばかりやっているのが気になりました。第1班の方は、裏館小が入っていますが、三小、一ノ木戸小が0です。東公民館もできたことですから、中央公民館、栄公民館だけに任せるのではなく、各地区の公民館の方々ももっと働きかけをして、各々の地域から引っ張ってくることで、各公民館が連携されるような形でやれたら良いのではないかと思います。</p>

<p>捧中央公民館長</p>	<p>はい、おっしゃることで、私共、努力が足りなかったと思います。各地区の公民館からリクルートしてくるという事は検討してゆきたいと思います。1ー5にありますように、スタッフの従事者数は1班が101人、2班が104人という事で、参加者の人数に対してコストパフォーマンスからいくと、とても低い。言い方は悪いですが、とても大きな人数でお世話をしている。今年は下田公民館の人員も1人減りましたので、ひとつの地区館ではなかなか難しい。かなりのコストがかかりますので、今年は2つの班が、グリーンスポーツで全体を通して、1回全部の流れがわかる中でやってみようということで実施しました。今、阿部委員がおっしゃるような事も反省と検討に入れながら、来年に生かしてゆきたいと思っております。よろしくお願ひします。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>通学合宿のことについて、各委員の方から検討してくださいという注文がつかれました。数だけにこだわる訳でないのですが、やはり、定足数に満たないというのは、どこかに欠陥があり、その結果だと受け止め、検証を続けなければならないという中で意見が出たわけでございます。中央公民館の事業にこだわらず、各地区と連携を取りながら、校長会とPTAは子供達と関わりのある大きな団体ですので、是非、その辺に力を注ぐよう、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
<p>米山委員</p>	<p>子ども映写会をやってらっしゃるところがありますが、嵐南・本成寺・大崎・栄・下田。来るお子さんの人数もそんなに多くないようです。ビデオ、パソコン、子ども達いくらでも見られる時代のような気がします。テレビのない時代からきていたものであれば、そろそろ見直してもよいのかなと個人的には思ひます。</p>
<p>捧中央公民館長</p>	<p>実は私、三市南蒲視聴覚ライブラリーの委員をやっておりますが、非常に教育的価値の高いビデオ、18ミリを用意してあるので、公民館でも是非利用してほしいという要望があります、手軽に家庭で見ても50インチがせいぜいであり、公民館のスクリーンは100インチ。大きな画面で見ってもらうことで意義があるかと思いますが、手法等についてはご指摘の点もあろうかと思ひますので、検討させていただきたいと思ひます。</p>
<p>小杉委員</p>	<p>報告の中で、下田地区クリーン運動における趣旨について、「家庭内や地域の交流促進を図る」というのは良いことだと感じました。私は畑仕事で、天気が良いとよく、やまなみロードのあたりを通るのですが、缶・ごみが草の多い時に捨ててあります。特にこれから冬にかけて捨てられますから、春になると落ちています。私はそれを拾って家に持って帰ります。コンビニに行きますと、家庭ごみは入れないでくださいと書いてあっても、持って来ているらしき物を目にします。ごみの事は、子どものうちから教えなくてははいけません。一番悪いのは成人した人、私の年齢位でもポイ捨てやっています。家庭内や地域</p>

	<p>の交流促進というのがだんだん薄れてきていて、泥上げも、自分の班のところも業者に任せてゆくというのが昨今です。この事業は、是非、継続してやっていただきたいと思っています。</p>
坂井下田公民館長	<p>今ほどの件、私共下田地域は、高度成長期の時代から三条・燕地域に働きに行き、地域の方が顔を合わせる機会が少なく、結婚してもわからないなどといったことから、何かテーマをもって地域の皆さんが顔を合わせる、挨拶をする、地域で疎遠にならないよう公民館で取り組んできたという経緯がございます。私共、委員さんからご理解あるお話を頂戴し、心強く思ったところでございます。</p>
五十嵐委員	<p>私は、9月に中央公民館のパソコン教室を受講しました。定員12名のうち、29名の申込者数ということでした。今、誰もがパソコンができる、またやりたいと思っている人がいる時代です。年配者でも手軽に参加できるパソコン教室をこれからも続けてやってもらいたいと思っています。</p>
捧中央公民館長	<p>パソコン教室は、今、他の公民館でも非常に人気があります。ただ、機械と教える方の人数のキャパシティがあり、今12人位でやっているのが精一杯でございます。特に中央公民館は、12人、20人枠でやると、30人、40人と申込みがきて、昼・夜の部も抽選でやっている状態。どこまでやったらいいかというのはありませんが、多くの方から受講できる機会を作ってゆきたいと考えております。</p>
丸山委員	<p>5-6、本成寺公民館の「男の料理入門講座」が、残念ながら未実施ということについては、私も以前から大島公民館でやっているのを知っていたので、好評だと思っていましたが、ここで初めて未実施ということを知りました。説明では、参加費が全部まとめて前納制で、高く感じさせたということですが、6-7大崎公民館の「男の料理教室」は定員15人で充足率100%とあります。その違いは、こちらは毎月徴収しているのではないかと思います。</p> <p>また、事業における本成寺公民館の趣旨と、大崎公民館の趣旨は違っています。～家庭での炊事に参加する意欲を引き出すことを目的に～は、我々としてはおかしい。はっきり言って、そこまで踏み込んで欲しくないというのが、男の意見。でも料理は習いたい。本成寺公民館さんも、これからどのように展開されてゆくのかよろしくお願ひしたいと思っています。</p>
小林委員長	<p>関連してよろしいでしょうか。1回1,500円は高いと思います。</p> <p>1,500円そのものを考えなくてはいけない時だと思います。下田公民館は今回おやめになりました。これは、各公民館だけでやる事業なのか。男子厨房に入って欲しいということも、男女共同参画の視点から言えば、どんどん入ってもらいたいので、是非とも、男女共同参画の担当課と連携をとりながら、皆</p>

	<p>さんから参加できるような体制を検討し、1,500円も検証しながら、進めていっていただきたいのでよろしくお願いします。</p>
阿部副委員長	<p>このほかに「子どもの料理教室」というのがありますが、食べ物となるといっぱい集まるのだなあと思いました。本成寺公民館さんも、パパと一緒に作る、親子でやるような発想があったらステキだなと見ておりました。9回は多すぎる。土曜日は子どももOKですから、父と子どもの触れ合いで、この料理教室を通して月に1回位、パパの料理を家庭で食べられる。あなた方の目指す方向へ行くのではと考えておりました。参考にしてください。</p>
小杉委員	<p>大崎の料理教室に参加した方が、作ったけれど食べている時間がないのでということで、いただいたことがあります。材料費も内容によって違うと思いますので、参加費もその時によって変えてよいと思います。高い高いと言うと職員の方も大変だろうと思いますので。</p>
阿部副委員長	<p>家庭料理ということを中心に考えたので、高いかな、1,000円位でよいのではと思いました。</p>
小林委員長	<p>今後また、ご検討をお願いします。</p>
米山委員	<p>このように男女の溝は深い。このあたりよく考えていただくと同時に、公民館全体で、男性特に高齢の男性を呼び込みたいというお考えがあるようですが、なかなかうまくいっていない状態があるようです。このように、女性は喋り出すといくらでも喋りますが、男性はそのうちだまって喋べらないというように、あまり男性、男性というところも引いてしまうところもあるかと思しますので、その辺うまくやってほしいと思います。</p>
小林委員長	<p>全体のお話だそうですのでよろしくお願いします。 他にないので、報告事項については終了いたします。 続いて、「(2) その他 ア 今後の公民館運営審議会在り方について」説明をお願いします。</p>
捧中央公民館長	<p>この件については、私共と生涯学習課で関連する委員会をひとつずつ持っているため、平成21年度位から検討を進めてまいりました。昨日、社会教育委員の方に、生涯学習課の方で説明をいたしました。今日は、それと同じ資料で金子生涯学習課長の方で説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
金子生涯学習課長	<p>生涯学習課の金子です。説明をさせていただきたいと思います。 —— 資料No.3「社会教育委員と公民館運営審議会委員について」説明 ——</p>

	<p>新しい委員さんの時から兼任でお願いしたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p>
小林委員長	<p>「在り方について」ということではなくて、平成23年5月と5頁にあります。今後の方向性についてということが結論だと理解します。ということで、皆様からご意見をお伺いしたいのですが、こちらから確認の意味で、ひとつよろしいでしょうか。修正可能な部分は、どこでございましょうか。</p>
金子生涯学習課長	<p>私共の考え方としての案でございますので、どういった意見が出るのかで参考にさせていただきたいと思います。</p>
小林委員長	<p>はい、そういうことですね。それをふまえて、皆さんから意見を賜りたいと思います。</p>
丸山委員	<p>社会教育委員、公民館運営審議会委員とそれぞれがありますが、それが15名となると半分減る。また、内容となると会議が倍になるわけではないですよ。その場合、どういう運営をされるのか。今までやってきた社会教育委員の会議の内容と公民館運営審議会との会議の内容が合致したというか、一本になった姿が見えないと。</p>
金子生涯学習課長	<p>基本的には、社会教育委員と公民館運営審議会の会議の内容を合体させた会議内容を考えております。他市の事例等を見ますと、計画等を作る部分については市の方である程度作ったものを吟味してもらい、計画について実践することについては公民館運営審議会の役目を担ってもらうということで、事業等の意見をもらう。やはり両方の内容をここにかけるということになります。回数については、今現在未定ですが、3回より減ることはなく3回以上で考えております。</p>
丸山委員	<p>減ることはないけど、増えることはあるのかどうか。</p>
金子生涯学習課長	<p>今のところ未定でございます。人数を減らして、更に回数も減らすのかというご心配だと思いますが、最低3回というふうに考えていただきたいと思います。</p>
小杉委員	<p>社会教育委員と公民館運営審議会委員の選任するための条件はわかりましたが、中味となると、公民館運営審議会は、委員として公民館の事業を審議してきたのでわかりますが、社会教育委員の人達はどんなことを審議してきたのか私はわかりません。また、二つが合体するとどのような名前になって、いったいどのようになるのか。</p>

<p>小林委員長</p>	<p>よろしいですか。お答えしてください。というのは、今までは公民館運営審議会、社会教育委員会議というのが、今度は二つが一緒になるわけですから、名称そのものも変わると思っているわけですから、ここにどこから選出されるのかも書いてありますが、私達こっただけで話していれば、各地区の公民館から選ばれたということで公民館のことはわかるけれど、例えば、選ばれた時に社会教育委員のことは何もわからない。その役目を果たせるのかという懸念もあるわけです。昨日、私、社会教育委員会を傍聴させていただきましたら、やはり、社会教育委員の皆さんは、公民館のことは何もわからないという同じようなお話をされました。交流も無いそれぞれ独立した委員会の形態のなかで、各自自分達の役目を果たしてきたのが現状です。それが、今度ひとつになることのご指摘・ご質問は、この3月に任期が切れるという私も含めまして、そこまで懸念する必要があるのかということもあるかもしれませんが、今ここで説明を受けたなかでは、このことをきちっと解消なり、私達がわかるお話をさせていただきたい。決まったのだから、23年の5月からとおっしゃっているわけですから、案でもないし、このような方法でとおっしゃっていて、決まりのわけですから、そのことは、私達と関係なくても、語られる範囲、わかる範囲でお話をさせていただければと思います。</p>
<p>金子生涯学習課長</p>	<p>名称は、あくまでも「三条市社会教育委員会及び三条市公民館運営審議会」というように、会議がある場合は一緒の会議という形態になろうかと思えますし、他市もそのような形でやられています。会議内容としては、社会教育委員の会議においては、公民館だけではなく、図書館・記念館・資料館などの事業報告、計画を審議してもらっておりますが、そういったものも聞くようになるかと思えます。そして、公民館運営審議会でもありますので、時間的な振り分けもありますが、今ほどのような公民館の事業内容を審議していただくことになると思えます。</p>
<p>捧中央公民館長</p>	<p>具体的に申しますと、社会教育委員さんは生涯学習・社会教育全般のことを高所からみていただいて、立案とかアドバイスをいただいています。</p> <p>公民館運営審議会委員さんは、社会教育の中核を成すところの公民館の事業で、更に具体的に、ひとつひとつの事例に基づいて審議していただいています。</p> <p>よって、社会教育委員の皆さんには、もう少し個々の公民館の運営など深く理解し、審議していただくことになりまして、公民館運営審議会委員さんからは、公民館以外の図書館とか社会教育全般、学校教育の分野とかも関わるかもしれませんが、そういった全体を見て、ご意見や企画調整をいただくことになると思えます。広くなる部分と深くなる部分と重なり合うので、忙しくなるということは間違いないわけです。</p>
<p>米山委員</p>	<p>図書館協議会とかもあります、どんどん一緒になってゆくのであれば、最初から一緒にしたらいかがなものかと思えますが。</p>

金子生涯学習課長	<p>先ほど申しましたように、公民館の方が、社会教育の中核をなしているものですから、教育全体として公民館活動を一緒にやらせてもらいたいということでございます。</p>
阿部副委員長	<p>根っこの部分をお聞きしたいと思います。社会教育委員会と公民館運営審議会は、今までは職務からすると全く別の中でやらせてもらっていたわけですが、何故か社会教育課というのがなくなって、生涯学習課というところで係がひとつになって、係長も1人減になったりして、三条市の社会教育の行政がどんどん縮小しています。それについて、今日、市民部長さんはいらっしゃいませんが、最初、私達は教育委員会でしたので、教育長、教育委員長さんの話を聞きたい。私達の仕事は文部科学省の中にある仕事なのに、三条市は市民部へ来ています。それについて、課長さん並びに中央公民館長さん、あなた方が私達市民を引っ張っていくという職務におられるわけです。三条市の社会教育とか、そういうものについての根本的な考えと、何故、行革の中で文部科学省から離したり、こういうものを一緒にしたりと、何が原因で三条市はこういうことをなさるのか。この件も、今のままで市民は慣れているので、このまま進んでいてもらいたいと思います。公民館運営審議会は委員長の旨い司会のもと、和やかに、皆さんがいろんな意見をおっしゃっています。こんなにうまくいっている公民館運営審議会をなぜ、二つを一つにするのでしょうか。どこが悪いのでしょうか。そこを聞きたいと思います。行政は何を考えているのでしょうか。それについて、どこからきている話か、私達、見えません。担当されている職員の皆様の考えはどうだったのでしょうか。</p>
小林委員長	<p>これが根っこの部分だと思います。いったい何処から、これが発生したのだろうという疑問を皆さんお持ちです。それで、阿部副委員長がおっしゃったわけですが、結局は経営戦略プログラムを含めて、行政改革、財政改革のあおりということで、社会教育の現場までこのようになってきた時勢の中、ある部分は納得をしたりで、自分の立ち位置を決めるわけですが、その説明もないまま、20市のうち13市こうだよというのでは説得力に欠けるわけです。私は、修正可能な部分はどこですかと最初聞きましたが、そのようなお答えではなかったもので、これはこのまま実施しますよと受け取りました。ですから、根っこの、肝の部分の、そういう市民感覚なり、ここにおいで公民館運営審議会委員、社会教育委員の皆さんが、率直に共通に感じたことに対しては、やはり中央公民館長さん初め、市民部長さん、生涯学習課長さんも、市役所へこういう声があるよというのをお伝えしていただきたい。それが私達の要望ですのでよろしく願いいたします。</p>
金子生涯学習課長	<p>先ほどおっしゃったことに関してですが、これは、生涯学習課の方でこういった形が効果的だろうという考え方の中でご提案申し上げたということで、ご理解いただきたいと思います。また、持ち帰りましてお話させていただきます。</p>

小林委員長	よろしくお願いいたします。
捧中央公民館長	とかく、教育の方にいると行政の独自性が保たれて、教育委員会は崇高なイメージがあるような感じがありますが、役所の職員としては、やっていることには変わりはなく、仕事には全力投球をしております。教育委員会も良い部分がありますが、逆に市長部局は全体の課題が見えて市民との接点が近くなるという良い部分もあります。今回のことは、効率を求めれば二つを一つにするという選択肢を採ったことは事実ですが、金子課長が説明申し上げたように、より深くお互いを結びつけて、これからより良い生涯学習あるいは社会教育行政に対処し、また具体的に渡って、アドバイスや助言をいただけることを信じて、私共やってゆきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
小林委員長	はい、よろしくお願いいたします。 今後、各公民館長さんも15人の委員になりますから、各地区から1人ということも不可能かもしれません。私が言うことでないかもしれませんが、こういうことが起きていて、直接関わってくるということを、各公民館長さんもご自覚していただければ、公民館運営審議会としてもありがたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
阿部副委員長	この新しいところに、15名とは書いてありません。課長さんがお答えになったばかりですから、15名はこの先流動的に、17名位にはできたらやってもらいたい。今、お話ききますと、二つの職務をやるということは、もっと大勢の人の意見を聞くことが大事になってくるわけですから。通るかどうかわかりませんが、私は1名でも2名でも多い方が良いと思います。意見としてお願いいたします。
金子生涯学習課長	はい、意見としていただいてまいります。
小林委員長	時間の関係もありますので、(2) その他「イ 業務改善の進捗状況について」説明お願いいたします。
金子生涯学習課長	それでは続いて、私の方から説明をさせていただきたいと思います。 資料No.4ということになっておりますが、6月の公民館運営審議会の中で説明があったかもしれません。少し重複いたしますけれどもご説明いたします。 — 資料No.4 「平成22年度生涯学習課・公民館業務改善について」説明
小林委員長	只今の説明に対し、ご質問ございますか。 ひとつだけ、最後の方、お願いしたいと思います。「公民館の機能的な運営検討、組織の大括り化(同室化)」。さりげなくお書きになっていますが、今の辺までこの話は進んでいますでしょうか。

金子生涯学習課長	ここに書いてあるとおり、中央公民館と生涯学習課が同じ組織になれるのか。同じ場所で仕事ができるのか。そのためには事務室がどの程度いるのか。というようなことを検討・検証をしております。
小林委員長	その結果はまだですね。23年5月ですか。
金子生涯学習課長	それについては、3月のこの会議なり社会教育委員会議の中で、結論的にはお話をさせていただきたいと思っております。
小林委員長	はい、わかりました。
捧中央公民館長	みなさんがイメージ的にわかり易い例でいくと、旧三条市の例で、社会体育課が現場と企画管理する方が近いほうが良いということで、体育館・体育文化センターに事務所を移しました。簡単に言えば、それと同じようにトライしようと思っております。本庁舎に今、生涯学習課がありますが、想定しているのは、中央公民館の一部を改装し、生涯学習課が中央公民館と一緒に入るのが具体的な考え方です。金子課長が申し上げた3月までにというのは、予算や人事を含めて明らかにできるのが、3月までということです。実施できるのが3月ということではなく、業務改善も含めてそこまでに結論を出したいということです。市長、副市長も協議の中に入っていますが、現場と意志を決定するところが近くなって、よりスムーズに、スピーディな事業化が行えるということで、前向きに考え、今後詰めてゆきたいと思っております。皆さんも今日の資料で不足かもしれませんが、アイデアやご意見があれば、問い合せいただければと思います。
小林委員長	ありがとうございます。この件についてはよろしいでしょうか。
弥田委員	只今、業務改善について説明いただきましたが、私が心配しているのは、こういう改革等の中で、公民館活動がマイナスにならないように。公民館の職員、館長の皆さん、一生懸命やっておりますので、そのことによって事業運営・サービスがマイナスにならないように、是非お願いしたいと思います。
捧中央公民館長	その件については、生涯学習課・中央公民館だけでなく、9つある全体の公民館活動がより活性化し、結果として市民の皆様へサービスを還元できるように、組織・体制等を今、提案してゆきたいと考えております。その結果をふまえ、中央公民館と生涯学習課の同室化をやって、事業がうまくいったということになるよう頑張りたいと思っております。皆様からの側面の支援もお願いしたいと思いますので、よろしくお願します。
小林委員長	他に、よろしいでしょうか。

阿部副委員長	<p>それでは、今日の記録については、前回どおりとさせていただきますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。それでは、阿部副委員長、閉会のご挨拶をお願ひいたします。</p> <p>今年度、第2回目の三条市公民館運営審議会ご出席の皆さんには、大変活発なご意見をいただき、それをそれぞれの公民館長さんがお受け止めくださりまして、私達には任期がありますが、次の方々へもずっと引き継いでゆかれることと思ひます。今後、公民館運営審議会委員が社会教育委員と二つの役を受けるわけですが、三条市には文化会館も市民会館もありませんので、公民館が社会教育の拠点になるのではないかと思ひます。限られた資源でと言われてはいますが、もっている資源を120%発揮しながら、この公民館及び社会教育を盛り上げてゆけたらと思ひております。今日はどうもありがとうございました。</p>
--------	---